

歯科補綴学 2AB

【前期】4 年：水 2 【後期】3 年：木 3

松香芳三・大島正充・大倉一夫・細木真紀・鈴木善貴・宮城麻友・窪木拓男・西川啓介・矢谷博文・井上美穂

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

- **クラウンブリッジ補綴学 第 5 版 / 矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川 匠 編 医歯薬出版 2014**
 → 1986 年以來の歴史を有する補綴学の参考書であり、近年におけるクラウンブリッジ補綴学の理論と臨床の進歩に対応。
【497.5||Ku】
- **冠橋義歯補綴学テキスト 第 2 版 / 會田 雅啓・石神 元・魚島 勝美・江草 宏・越智 守生・木本 克彦・窪木 拓男・五味 治徳・近藤 尚知・佐藤 亨・佐藤 博信・澤瀬 隆・田中 昌博・中本 哲自・服部 正巳・馬場 一美・藤澤 政紀・松香 芳三・松村 英雄・南 弘之・山口 泰彦編 永末書店 2017**
 → 冠橋義歯補綴学の参考書であり、クラウンブリッジ補綴学に関して幅広く網羅。
【497.5||Ka】
- **クラウンブリッジテクニック 第 2 版/ 石橋寛二・伊藤裕・川和忠治・寺田善博・福島俊士・三浦宏之 編 医歯薬出版 2018**
 → クラウンブリッジ補綴学に準拠している。全国 29 歯科大学・歯学部 of クラウンブリッジ担当教官が協力して編集した全国版実習書。
【497.5||Ku】
- **イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー1 患者の診かたと歯科診療 / 黒崎紀正・小野瀬英雄・住友雅人 他 編 医歯薬出版 2001**
 → 歯科臨床の幅広い知識を整理し、基本に則った確かな技術を習得するために役立つ。
【497.2||Ir||1】
- **イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー2 歯・歯髄・歯周組織の疾患 / 黒崎紀正・小野瀬英雄・住友雅人 他 編 医歯薬出版 2001**
 → 歯科臨床の幅広い知識を整理し、基本に則った確かな技術を習得するために役立つ。
【497.2||Ir||2】
- **イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー3 咬合・咀嚼障害・顎口腔疾患 / 黒崎紀正・小野瀬英雄・住友雅人 他 編 医歯薬出版 2001**
 → 歯科臨床の幅広い知識を整理し、基本に則った確かな技術を習得するために役立つ。
【497.2||Ir||3】

□ **標準クラウン・ブリッジ補綴学 / 羽賀通夫・内山洋一・山下 敦 編 医学書院 1989**

→ 豊富な内容をコンパクトにまとめた補綴学教科書。

【497.5||H12】

□ **咬合学と歯科臨床 よく噛めて、噛み心地の良い咬合を目指して / 中野雅徳・坂東永一 編 医歯薬出版 2011**

→ 「咬合がわからない」と感じている歯科医師のために咬合理論と臨床応用を簡潔に整理している。

★【蔵本2階生命科学閲覧室 497.6||Ko】

□ **新編 顎関節症 / 日本顎関節学会 編 永末書店 2013**

→ 日本顎関節学会の専門医研修カリキュラムに基づき、顎関節症に関する知識と情報を系統的・総合的に網羅。

【497.3||Sh】

□ **口腔顔面痛の診断と治療 ガイドブック 第2版 / 日本口腔顔面痛学会 編 医歯薬出版 2016**

→ 疼痛の機序から具体的な口腔顔面痛治療までを系統立ててまとめた教科書。

【497.3||Ko】

Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ **徳島大学歯科補綴学授業概要**【<http://d49.dent.tokushima-u.ac.jp/groups/crbr/>】

→ 徳島大学歯科補綴学2AB、歯科補綴学2実習などの資料が掲載されている。

□ **日本補綴歯科学会ガイドライン**【http://www.hotetsu.com/s4_03.html】

→ 日本補綴歯科学会のガイドライン等がまとめられている。

□ **日本顎関節学会診療ガイドライン**【<http://kokuhoken.net/jstmj/publication/guideline.shtml>】

→ 日本顎関節学会の初期治療診療ガイドラインが掲載されている。

□ **日本口腔顔面痛学会 非歯原性歯痛診療ガイドライン**【<http://minds4.jcqhc.or.jp/minds/NDTA/ndta.pdf>】

→ 非歯原性歯痛診療ガイドラインの電子版。

□ **痛みと鎮痛の基礎知識**【<http://www.shiga-med.ac.jp/~koyama/analgesia/index.html>】

→ 基礎情報が詳しい。本ウェブページを土台に「痛みと鎮痛の基礎知識：(上)基礎編(下)臨床編 / 小山なつ 技術評論社 2010」が出版されている。

□ **メルクマニュアル日本語版**【<http://merckmanual.jp/mmpej/index.html>】

→ 世界で最も信頼されている医学書の一つ。各疾患の病因、病態生理、症状と徴候、診断、治療などが記載されている。

□ **Minds(マインズ)ガイドラインセンター**【<http://minds.jcqhc.or.jp/n/>】

→ 各種疾患の診療ガイドラインあるいはサマリーの情報がある。